

国際委員会（共催：観光委員会）では、これまでの調査研究及び視察を踏まえ、沖縄県の主要な玄関口である那覇空港の現状・課題について学び、世界最高水準の空港の在り方について理解を深めることを目的に那覇空港視察を行い、東副代表幹事、東川平委員長はじめ、総勢27名が参加しました。

はじめに、那覇空港ビルディング株式会社様より、二次交通等の内容を含む那覇空港の概要説明を行っていただき、その後、令和二年度に新設された「国際線の設備」を中心に、空港内の設備・機能について視察しました。

那覇空港は、2018年に国内線ターミナルと新国際線ターミナルが連結し、2020年3月には第二滑走路が供用開始され、両滑走路での同時着陸が可能となる等、インフラ整備が着実に進んでおります。

近年は、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線は2年余りにわたり運航していない状況が続いておりましたが、今年8月3日に、韓国のティーウェイ航空がソウル-那覇を結ぶ定期便が再開され、今後の段階的な路線回復へ向けて期待されているところです。

那覇空港の大きな特徴として、一つの空港ビル内に、「国内線と国際線の連結（際内連結）」、「LCCのチェックイン～搭乗までの一気通貫型導線」、「国内線同士の乗り継ぎ」が実現されているなど、国内の空港では唯一の特徴を兼ね備えており、顧客にとって利便性の高い空港となっております。また、沖縄独特な食文化が味わえる店や海外の名店など122のテナントが入居しています。

参加した会員全員が那覇空港に対する知見を深め、肌で感じることができ素晴らしい視察となりました。今回の視察にあたり、那覇空港ビルディング株式会社の皆様には多大なるご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

1. 開催日 令和4年9月21日（水）14：00～19：30

2. 視察場所

国際線チェックインカウンター／ハイジャック検査場／出国審査場／搭乗待合室／検疫スペース／バゲージクレーム／ビジターセンター／珊瑚の間／ビジネスジェットラウンジ／ゆいにち広場・ストリート／第二滑走路説明（空港2階から見学）／フクギホール



（概要説明時）



（第二滑走路説明時）



(ビジネスジェットラウンジにて)



(参加者集合写真)